

令和6年度出水期に向けて、減災対策の推進に向けた課題や取組状況を共有

- 令和6年度出水期に向けて、「第12回 佐波川水系大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催しました。
- 令和5年度の出水における取組の効果や課題、各機関における令和5年度の取組状況と令和6年度の取組予定を共有し、佐波川流域全体の安心・安全に繋げるため、ハード・ソフト対策を引き続き関係機関で連携して取り組むことを確認しました。

【開催概要】

- 日時: 令和6年5月23日(木) 14:00~14:50
- 場所: 山口河川国道事務所 第一会議室
- 議事
 - (1) 規約の改正
 - (2) 佐波川水系大規模氾濫に関する減災対策協議会について
 - (3) 令和5年度佐波川出水振り返り
 - (4) 令和5年度の取組と令和6年度の取組予定
 - (5) 今後のスケジュール(案)
 - (6) その他



協議会の様子

- 出席機関(7機関)
山口市、防府市、周南市、山口県土木建築部、山口県総務部、下関地方気象台、山口河川国道事務所
- 報道機関(5機関)
日本放送協会 山口放送局、山口朝日放送(株)、防府日報(株)、(株)中建日報社、(株)みなと山口合同新聞社

【山口河川国道事務所長 記者への主なコメント】

- 今回の協議会では、**関係機関と顔の見える関係作り**ができたため非常に有効であった。
- 令和6年度の出水期に向けて、**住民の意識啓発や水防活動にしっかり取り組む**とともに、住民の皆様には、**防災情報を適切に入手し、自ら避難行動に移していただきたい。**



【令和5年度佐波川出水振り返り(令和5年6月30日からの大雨による出水)】

- 令和5年6月30日から7月1日にかけて、山口県においては「線状降水帯」が発生し、佐波川流域では堀雨量観測所で**平成21年7月豪雨と同程度の雨量**を観測、漆尾水位観測所では**最高水位が観測史上2位を記録**。
- 各機関における出水の振り返り結果より、令和5年6月30日からの大雨では**取組効果により被害が軽減**できた一方で、**取組に関する課題**もあることを確認。
- 課題解決に向け、**右表の取組をより一層推進**。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組	<ul style="list-style-type: none"> さらなる治水安全度向上につながる整備 カメラ画像から災害情報を確実に取得するための整備 内水ハザードマップを作成(令和6年度は内水浸水想定区域図を作成(防府市)) マイタイムライン作成、出前講座等による住民・事業者への防災意識向上のための取組強化
② 地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動	<ul style="list-style-type: none"> 洪水予報に関する技術力の向上・維持 カメラ画像情報を活用した人的配置の迅速化 防災情報提供に向けたの伝達系統の見直し 水防資機材の相互支援方法の確立

【令和5年度の取組と令和6年度の取組予定】

各委員より、令和5年度の取組と令和6年度の取組予定を説明。



山口市副市長

- 令和5年度は、**住民自らの確実な避難の促進**を目的として、**避難行動要支援者システムの更新作業**を実施した。
- また、**水防活動を迅速**に行うために、**住民と共同で危険箇所の点検**を実施した。



防府市長

- 令和5年度は関東大震災から100年の節目であり、**まるごとまちごとハザードの設置**や過去の災害に関する**展示等、防災に特に力を入れた**。
- 令和6年度は、**子ども防災士の養成**や**防災広場の事業**に着手予定である。



周南市副市長

- 令和5年度は、**洪水や土砂災害のリスクが高い施設の移転の検討**や、「しゅうなん防災」で**マイ・タイムライン**を普及し、**住民の避難行動促進**に取り組んだ。
- 令和6年度は、**図上訓練及び関係機関との連携強化、防災DX**を推進する。



山口県総務部理事(危機管理担当)

- 自主防災アドバイザーの養成研修や防災教育**により、**防災知識の普及啓発**や**地域防災力の向上**を図っている。
- 令和6年度は、**自然災害の恐ろしさ**を体験できる**VRゴーグル**を活用し、**防災教育**を推進する予定である。



下関地方気象台長

- 線状降水帯に関する情報の改善**に複数年かけて取り組んでいる。
- 令和6年度は、**線状降水帯に関する情報を府県単位で発表**できるように5月28日に運用変更予定である。



山口河川国道事務所長

- 令和5年度は、**下流域の支川合流部**における**築堤工事等のハード対策**、**合同巡視や防災教育等のソフト対策**に取り組んだ。
- 令和6年度も、**関係機関と連携しながらハード・ソフト対策を推進**していく。